

調査対象物質名	分析法フローチャート	備考
<p>[12] 2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-1,3,5-トリアジン (別名：アトラジン)</p>	<p>【生物】</p> <pre> graph TD A[生物試料 湿重量5g] --> B[ホモジナイズ アセトン 10mL] B --> C[超音波抽出 5分間] C --> D[遠心分離 3,000rpm、10分間 2回繰り返す。] D --> E[分取・希釈 20mL中5mL分取 精製水 60mL] F[アトラジン-d5 2ng] --> E E --> G[固相抽出 Sep-Pak Plus PS-2 10mL/分] G --> H[洗浄 精製水10mL アセトン 10mL] H --> I[乾燥 窒素バース] I --> J[溶出 アセトン/アセトン(20:80) 6mL] J --> K[濃縮 窒素バース 0.5mLまで] K --> L[転溶 アセトン 10mL] L --> M[カラム クリーンアップ フロリスィル 8g 洗浄：アセトン 5mL 溶出：アセトン/アセトン(20/80) 10mL] M --> N[濃縮 窒素バース 0.2mLまで] O[アトラジン-d10 20ng] --> N N --> P[GC/MS-SIM-EI] </pre> <p>「平成2年度化学物質分析法開発調査報告書」を参考に変更</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【生物】(ng/g-wet) [12] 0.38</p> <p>分析条件： 機器 GCMS-QP2010 カラム DB-WAX 30m×0.32mm、0.25μm</p>